

2017年度 自主防災組織総会

桜ニュータウン自主防災組織

日：2018年3月25日(日)

場所：広岡交流センター 1階ホール

議事次第

1. 2017年度 活動報告
2. 2017年度 決算報告
3. 2018年度 組織役員
4. 2018年度 防災員名簿
5. 2018年度 活動計画
6. 2018年度 予算案
7. その他

はじめに

2011年3月11日に発生した東日本大震災から7年が経過しましたが、被災地の復興はまだ道半ばの状況にあります。この大震災は、私たち桜ニュータウン住民にも数多くの教訓を残しました。

このときの教訓を踏まえ、私たちは「自分の命は自分で守る」、「我々の街、桜ニュータウンは、住民みんなで守る」の理念の基に、2012年に自主的な防災活動を行う自主防災組織を立ち上げ、住民全員参加で災害の軽減・防止に努めることを目標に活動を継続してきております。

自主防災組織の共助の働きの鍵を握るのは、住民のコミュニケーションの力です。幸いに桜ニュータウンはコミュニケーションの非常に良い街なので、平常時の緩やかな見守りから、災害時の共助に力を発揮することが可能です。

自主防災組織では設立時の理念と目標に向かって努力をいたします。今後とも皆様のご理解とご支援をよろしくお願い致します。

1. 2017年度 活動報告

1、役員会

今年度は定例の諸活動の他に、「防災計画の見直し案」の作成をいたしました。現防災計画は2011年の自主防災組織の発足時に定められました。仮災害対策本部設置の基準が記載されておらず、また行動すべきことは明記されていても、自主防災組織のどの部会が主体となって行うかが明記されていませんでしたので、明記する等の見直しを行いました。

また避難所運営については、自治会が中心となって運営するのが最良と判断しましたが、今後自治会と協議して桜ニュータウンの住民にとって、より良い防災計画にしたいと考えています。

・役員会を5回(4/15、6/24、9/24、11/25、2/4)、防災会議を3回(10/5、12/7、2/10)、長期計画策定プロジェクト会議を1回(2/10)開催しました。

2、ひなん支援部会

- ①災害時のひなん支援希望者調査を実施した。(4月) ひなん支援希望者宅を訪問し希望者を確定。
- ②日赤講師による災害時における減災セミナーの開催と、いざという時の「くらしの知恵」展示。(5/13)
- ③防災訓練を実施した。(6/3) 安否確認、総合受付を担当
 - ・自力歩行困難者支援訓練
 - ・黄色のハチマキ を持っていない人に補充した。
- ④「ツツク見守りたい」の全戸配布をお願いした。(10月) 救急隊に掛かり付け医、常備薬を知らせるメモ。
- ⑤ひなん支援希望者宅の訪問をして日頃から顔の見える関係をつくる。
 - ・3回訪問した。(5月、10月、2月)
 - ・2月にはサポーターさんの訪問も行い、日頃の接し方や不安に思う事などの聞き取りをした。
- ⑥支援部会は5回(4月、5月、9月、10月、1月)開催。

3、情報部会

- ①自主防災活動の広報
 - ・防災だよりの発行(4回発行 5月、10月、12月、2月)
 - ・防災メールの発信 防災訓練等の開催案内、防災メールによる安否確認訓練、台風等の注意喚起、
 - ・防災掲示板を用いた広報 防災訓練等の開催案内等
- ②防災メール
 - ・有料の民間メールサーバー(さくらインターネット)に移行。
 - ・防災メールの普及活動。(2018年1月末時点での防災メール登録アドレス数は190件)
 - ・防災訓練時のメールを使った安否確認
 - 防災訓練中に着信したメールによる安否確認情報(75件)を黄色いハチマキによる安否確認情報と速やかに統合した。(最終的なメールでの安否確認数は83件であった。)
- ③防災に関する住民意見交換会の開催(1/20)
 - 「災害時の避難所の運営について」を議題として開催。つくば市危機管理課による基調講演の後、住民による避難所の運営について意見交換した。(参加者25人名)

4、訓練部会

- ①防災訓練(6/3) 救出救護訓練、被害確認訓練、給水訓練、消火訓練等を実施。(参加者97名)
- ②救急救命講習会(10/21) 並木消防署による講習会を実施(参加者22名)
- ③「防災用救急セット20人分」を購入した。
- ④防災倉庫内の棚・資機材を固定(7/15)

6. 2018年度予算(案)

収入

項 目	金額	備 考
自治会部会活動費	150,000	
2017年度つくば市補助金	26,000	2017年度補助金推定額
合 計 (円)	176,000	

支出

項 目	数 量	単 位	単 価	金額	備 考	
備品費	小 計					10,960
ワンタッチ折りたたみテント+簡易トイレ	2	式	5,480	10,960	S D - R E J 07	
備蓄品費	小 計					17,600
備蓄用 お水 (500ml ペットボトル)	220	本	80	17,600	在庫約695本3/25	
印刷費	小 計					28,600
地図作成	ニュータウン地図 A1	3	枚	800	2,400	
ひなん支援希望者地図	コピー代 25人分	25	枚	80	2,000	
個人調査表他	コピー用紙、印刷代	1	式	8,000	8,000	
防災だより	550部×2面印刷	4	回	800	3,200	
部会、役員会、防災会議等資料	自宅等でのコピー10円/枚を含む	1	式	13,000	13,000	
消耗品費	小 計					69,460
防災訓練諸費用	訓練用小物	1	式	7,800	7,800	
個人調査用封筒	封筒 600枚	600	枚	2	1,200	
コピー用紙	A4白色×6箱、A4黄色×1箱	1	式	11,500	11,500	
簡易トイレ凝固剤蓄便袋付	100回分	2	個	4,980	9,960	
簡易トイレ用消臭袋	35×50cm 60枚入り	2	個	1,490	2,980	
掲示板 (スチール製アルミ枠)	防災掲示板 600mm×450mm	9	枚	1,780	16,020 ごみ集積所9カ所分更新	
携帯充電器 (ソーラー)	災害時の携帯電話の充電用	1	個	3,000	3,000 停電時用	
A C延長ケーブル (U S B ポ	発電機～携帯電話の充電用	1	個	3,000	3,000 停電時用	
広報用ポスター (ラミネート	日赤講習、防災訓練、救命講習、意見交換会等	5	回	1600	8000	
のこぎり (粗目)	救出用	2	本	3,000	6,000	
講習会 開催費	小 計					31,000
日赤講習会	講習開催負担金	2	名	3,000	6,000 (半日講習×2名)	
講習会の展示品		1	式	5,000	5,000	
住民意見交換会	講師謝礼、交通費	1	人	20,000	20,000	
サーバー 使用料	小 計					7,000
サーバー使用料	防災メール用	1	式	7,000	7,000	
交通費	小 計					6,000
交通費	ガソリン代 30円/K m	1	式	6,000	6,000	
予備費	小 計					5,380
合 計 (円)						176,000

3. 役員

2018年度 自主防災組織役員候補者

役 職	氏 名	地 区	備 考
防災長	金子 和雄	北5	
副防災長	但野 恭一	中央4	ひなん支援部会
副防災長	中澤 哲夫	中央1	情報部会
防災幹事	八代 美代子	南6	ひなん支援部会
防災幹事	並木 宏之	南8	情報部会
防災幹事	田中 良典	北10	訓練部会
会 計	市川 厚司	中央7	訓練部会
会 計	大石 みなと	中央10	ひなん支援部会
書 記	安東 多恵子	南6	ひなん支援部会
書 記	阿部 眞庭	中央6	訓練部会
顧 問			

4. 防災員名簿 (2018.03.25現在)

氏 名		ひ 情 訓			氏 名		ひ 情 訓		
1	杠 洋子	○			25	日浦 修		○	
2	金子 和雄				26	菊原 妙子			○
3	阿部 淳一				27	樺田 清彦	○		
4	仲 義人			○	28	大石 みなと	○		
5	桑名 君子	○			29	河原 政裕	○		
6	真田 恵子		○		30	池田 すみ江			
7	保坂 和子	○			31	大出 力			○
8	田中 良典			○	32	林 次郎			
9	高村 聡			○	33	大庭 英子	○		
10	森 澄子	○			34	佐藤 淳一			○
11	丸山 美知江	○			35	村岡 哲郎		○	
12	杉山 好順			○	36	海野 喜美恵			○
13	清水 洋			○	37	八代 勉	○		
14	河合 靖子	○			38	八代 美代子	○		
15	中澤 哲夫		○		39	安東 多恵子	○		
16	中澤 博子	○			40	渡辺 孝			○
17	西 師毅	○			41	並木 宏之		○	
18	深谷 すみ子	○			42	倉持 健			○
19	山村 幸夫			○	43	大久保 成子	○		
20	但野 恭一	○			44	安部 辰美	○		
21	菊池 敏	○			45	片桐 一美		○	
22	阿部 眞庭			○	46	高橋 貴美代	○		
23	田中 隆			○	47	森崎 伸之	○		
24	市川 厚司			○	48	中村 祥一		○	

ひ： ひなん支援部会
 情： 情報部会
 訓： 訓練部会

5. 2018年度 活動計画

1、活動方針

“自分の命は自分で守る”を基本に、住民の防災意識と防災知識・能力を高めます。

予想される大地震や火災、風の被害を軽減・防止するため、平常時における防災知識の普及・啓発・広報に務めます。減災セミナー、防災訓練、防災住民意見交換会等を開催して災害時に備えます。

例年6月に行ってきた防災訓練については、新しい役員体制の下で、十分な準備期間を設けてその内容を検討する必要があることから、9月に実施します。

会員の皆さまには、防災員に加わっていただいたり、防災訓練にご参加いただくなど、なお一層のご協力をお願いいたします。

◎主な予定 ・日赤講習会・・6月、 ・防災訓練・・9月、 ・住民意見交換会・・1月、 救命講習会・・2月

2、ひなん支援部会

①安否確認のための名簿を作成(名簿と地図)

②2018年度のひなん支援希望者の調査

・ひなん支援希望者リストの更新 ・年3回 支援希望者の方の訪問

③日赤減災セミナーを利用して 減災のための講習会を開催(6月予定)

・避難所が開設された時に、体が不自由な人や怪我をした人の介助について
・不自由な生活を乗り切るグッズの展示。(昨年度の展示を今年も)

④防災訓練(9月予定)

・黄色いハチマキの取り扱いを徹底し、持っていない人には補充する。
・各区の人が避難場所に集合する経路を決める。特に車椅子など助けを必要とする人の経路を。

⑤「ツツク見守りたい」の普及 ・「防災だより」や「桜タイムス」を使ってPR。

3、情報部会

①自主防災活動の広報

・「防災だより」を年4回発行して活動報告、催し物案内、防災豆知識等を掲載して広く防災活動の周知。
・防災メールを地震・台風・強風・大雨に際し適時発信し注意喚起
・自主防のホームページに訓練の活動報告などを適宜掲載すると共にまた災害発生時には情報をお知らせする。また過去の「防災だより」を掲載しいつでも見られるようにすると共に記録として残す。
・掲示板に行事のお知らせの他、防災に関するお役立ち情報の掲示等も行い積極的な活用。

②防災メールの管理運営と普及促進

・防災メール加入のメリットを判り易く示した登録促進用のパンフレットを作成。
・防災メールを受信するための携帯電話・スマホの設定を説明するパンフレットを作成。
・メール相談会の開催(2回)

③防災に関する住民意見交換会の開催(1月予定)。

④防災訓練(9月予定)

・防災メールの発信、安否メールの受信、救助メールの受信と返信。ホームページへの情報アップ。

3、訓練部会

①防災訓練(9月予定)

・災害対策用資機材の取り扱い説明と使用体験の実施。 ・避難所運営の訓練を実施。

②救急救命講習を開催(2月予定) ・消防署職員による心肺蘇生法、AED使用方法等の講習会。

③ワンタッチ折りたたみテントと簡易トイレ、携帯充電器、のこぎりを購入予定。

6. 2018年度予算（案）

収入

項 目	金額	備 考
自治会部会活動費	150,000	
2017年度つくば市補助金	26,000	2017年度補助金推定額
合 計（円）	176,000	

支出

項 目	数 量	単 位	単 価	金額	備 考
備品費 小 計				10,960	
ワンタッチ折りたたみテント+簡易トイレ	2	式	5,480	10,960	S D-R E J 07
備蓄品費 小 計				23,600	
備蓄用 お水（500mlペットボトル）	220	本	80	17,600	在庫約695本3/25
のこぎり（粗目）	2	本	3,000	6,000	
印刷費 小 計				28,600	
地図作成	ニュータウン地図 A1	3	枚	800	2,400
ひなん支援希望者地図	コピー代 25人分	25	枚	80	2,000
個人調査表他	コピー用紙、印刷代	1	式	8,000	8,000
防災だより	550部×2面印刷	4	回	800	3,200
部会、役員会、防災会議等資料	自宅等でのコピー10円/枚を含む	1	式	13,000	13,000
消耗品費 小 計				63,460	
防災訓練諸費用	訓練用小物	1	式	7,800	7,800
個人調査用封筒	封筒 600枚	600	枚	2	1,200
コピー用紙	A4白色×6箱、A4黄色×1箱	1	式	11,500	11,500
簡易トイレ凝固剤蓄便袋付	100回分	2	個	4,980	9,960
簡易トイレ用消臭袋	35×50cm 60枚入り	2	個	1,490	2,980
掲示板（スチール製アルミ枠）	防災掲示板 600mm×450mm	9	枚	1,780	16,020 ごみ集積所9カ所分更新
携帯充電器（ソーラー）	災害時の携帯電話の充電用	1	個	3,000	3,000 停電時用
A C延長ケーブル（U S Bポ	発電機～携帯電話の充電用	1	個	3,000	3,000 停電時用
広報用ポスター（ラミネート	日赤講習、防災訓練、救命講習、意見交換会等	5	回	1600	8000
講習会開催 小 計				31,000	
日赤講習会	講習開催負担金	2	名	3,000	6,000 （半日講習×2名）
講習会の展示品		1	式	5,000	5,000
住民意見交換会	講師謝礼、交通費	1	人	20,000	20,000
サーバー使 小 計				7,000	
サーバー使用料	防災メール用	1	式	7,000	7,000
交通費 小 計				6,000	
交通費	ガソリン代 30円/K m	1	式	6,000	6,000
予備費				5,380	
合 計（円）				176,000	